

緑 蔭

発行所
白鵬女子高等学校
緑蔭会事務局
横浜市鶴見区北寺尾4-10-13
電話 045-581-6721
編集人 青木 早苗
青島 福坂 安口 勝比古
印刷所 デイトナプリント
川崎市幸区都野37-2
電話 044-522-2556

新役員をむかえて

副会長 青木 早苗

緑蔭会の皆さまにはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

令和6年は年頭から大きな災害にみまわれ、大変な1年でした。

緑蔭会におきましても18年の長きにわたり、会を統率くださった高橋キクエ会長が3月に急逝されました。明るい笑顔とお元気な声が忘れられません。永い間ご指導いただきありがとうございました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

緑蔭会といたしましては新会長を選出することになります。この1年、副会長の私、青木が会長代理を務めてまいりました。前回の評議員会におきまして4名の副会長を任命し、会の運営を行ってまいりました。4名とも在学中は生徒会に部活動にと活躍され、現在評議員としてご尽力いただ

おります。

S.53 年度卒 干川比登美

S.53 年度卒 三上 君枝

S.59 年度卒 三田 美紀

H.19 年度卒 田邊 千尋

今回の評議員会において新会長を選出し、新体制にて運営していく予定です。

母校におきましては、在校生が学業に、部活動に励まれ、それぞれ活躍されております。

昨年末には、陸上部の乙女たちが京都都大路を快走、タスキを繋ぎました。緑蔭会も次世代にタスキを繋いで参ります。

母校も来年度 90 周年を迎えます。皆さまにお集まりいただきいと同窓懇親会の開催を計画しておりますので楽しみにお待ちください。

会員の皆さまのご健康とご活躍をお祈り申しあげますとともに今後ともどうぞよろしくご協力の程、お願い申し上げます。

S53年度卒 干川 比登美 (旧姓 椎谷)

今年度より緑蔭会の副会長を務めさせていただいております。

会員の皆様におかれましては、京浜女子商業高等学校・白鵬女子高等学校の発展と活動にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私自身、微力ながら精一杯努めて参りますので、宜しくお願い致します。

さて、最近の母校の部活動での活躍といえば、演劇部、柔道部、テニス部、書道部、陸上部、体操競技部、水泳部、ボルタリング部等が活躍され、私たち卒業生にとっても誇らしく思うとともに、元気や感動をいただいております。

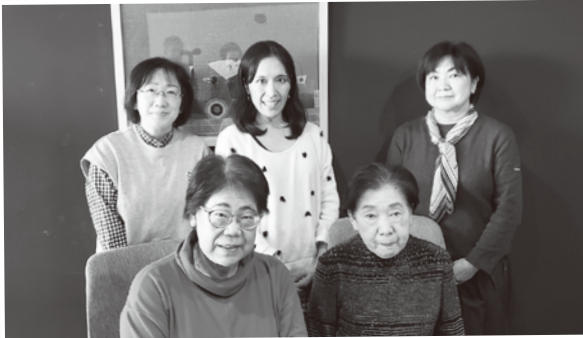
今後においても卒業生として、できる限りの協力はもちろんのこと、応援続けていきたいと思っております。

母校も来年創立 90 周年を迎えます。これからの緑蔭会の活動が、母校の発展に繋がりますことを祈念致しております。

素敵な「輪の絆」

S53年度卒 三上 君枝

この度、令和6年度評議委員会にて、副会長という大役を仰つかりました。



(2) 令和7年3月3日

同窓会だより

元教職員の諸先生方や諸先輩たちが、誠心誠意築き上げて下さいました「輪」の伝統を守り、ますます強い「絆」及び素敵な「輪」を繋げ、築いて邁進できますように、微力ながら、誠心誠意の気持ちを抱き、他の評議員の皆様のご協力を得ながら、職務を全うさせて頂きたく存じます。

思い出は、「心のふるさと」・・・貴重な財産です。

クラスメートそして、部活動、バトン部での日々のことなど、沢山の手のひら一杯のかけがえのない大切な思い出の数々が、いつ、どんな時も、走馬灯のように蘇って参ります。

この掛け替えのない沢山の思い出のお陰で、今の私は、まだまだ現役バリバリで、建築関係の仕事の第一線で、充実した学び多い日を元気に過ごさせていただいております。

何事にも感謝の気持ちを忘れずに、今日元気に迎えられたことに、まず感謝・・・。常に、人に優しく、人を気遣い、思いやること。私の信念です。

これからも、緑蔭会を通じて、沢山の大切な「思い出」作りが増すことができましたら幸いです。

恩師の諸先生方、そして、卒業生の皆様方、この緑蔭会の「絆」をもっともっと強い「絆」として築けますように、今後ともご協力の程、心からお願い申し上げます。

S59年度卒 三田 美紀

この度、緑蔭会の副会長を拝命しました三田美紀と申します。

卒業して40年が経ち、月並みですが年が過ぎる速さに驚いています。

私は高校時代、卓球部に所属し、寮生活を送っていました。一緒に過ごした同期生とは、今でも連絡を取り合っています。

これまで仕事と生活に追われ、振り返る機会が少なかったのですが、年を重ね、高校時代の恩師や友人たちを時々思い出しています。

WHO(世界保健機関)では、「健康」を「病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」と定義しています。また、社会的なつながりが健康長寿に良い影響を与えるという研究結果も出ています。

緑蔭会の活動に携わることになったことを機に、微力ではありますが、多くの卒業生のつながりを作るお手伝いができればと考えています。

卒業生の皆さまも、しばらく連絡を取っていない高校時代の友人と再びつながってみてはいかがでしょうか。

現在の学校を訪れると、当時中庭にあったプールはなくなっていますが、全体の雰囲気は私が高校生だった頃と変わっておらず、懐かしさと誇りを感じます。OGの皆様さまが「つながり」を感じ

られるようにできればと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

社会福祉法人伸こう福祉会
児童発達支援・放課後等デイサービス
ファンファンキディ湘南台・藤沢
管理者

H19年度卒 田邊 千尋

この度、副会長を務めさせていただいております田邊千尋と申します。

私は、高校を卒業して15年くらい経ちますが、今でも高校時代の友人とは、近況を報告しあったり、昔のようにたわいもない話をしたりと連絡を取っています。社会人になって出会った友人や職場の仲間とはまた違い、高校時代に、同じ目標に向かって切磋琢磨してきた友にだからこそ話せる本音があり、何かあると今でも頼りたくなる大切な存在です。

緑蔭会は、高校を卒業し何年経っても卒業生同士、さらに卒業生と恩師の方々と繋がることができる場所です。今後も、諸先輩方が築き上げてきてくださった伝統を守り続けたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い致します。

Aim High ～高みを目指して～

校長 玉川匡彦



中庭の桜の蕾も大きくなり始め、日々、穏やかな春の訪れを感じる頃になりました。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心から、お祝い申し上げます。3年間の教育課程を無事修了し、卒業を迎えられたことは、皆さん一人ひとりのためめ努力の結果です。また、保護者の皆様におかれましては、3年間で成長されたご息女に感慨も一入のことと存じます。ご卒業をお慶び申し上げますとともに、本校の教育活動に多大なご理解とご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

さて、本校ではスローガンとして「**Aim High ～高みを目指して～**」を掲げています。生徒一人ひとりが、夢や目標の実現に向けてベストを尽くして、ワンランクアップした自分へと成長してほしいという願いからです。

また、「本物に触れる」「真剣に夢を追う」環境づくりも本校の学びの特色です。例えば、グローバルコースでは多くのネイティブの先生方との英語に触れる機会があり、メディアアート表現コース

では、専門の先生方の指導のもと、プロ仕様の機材を使って作品制作に取り組んでいます。その他のコースでも、外部から講師をお招きしての特別講義などを行ってきました。スポーツコースや運動部では、各競技において日本代表経験者を含む教員が指導しています。修学旅行では海外の異文化に触れ、特に短期・中期・長期や学校代表留学に参加した生徒は、現地でのホームステイを通じて貴重な経験を積み、語学力を磨き、人として大きく成長して帰国してきました。学校の内外で「本物に触れる」学びは、自分がやりたいこと、なりたい自分を考え、夢に近づく力が養う3年間になったのではないのでしょうか。

3年生の皆さんは、行事においても、体育祭、記念祭では、最上級生としての自覚を持ち、2年生、1年生を引っ張っていく姿勢が多々見られました。どのようにしたら白鵬生らしさを出せるものにできるのか、思い出に残る行事にできるのか。試行錯誤しながらも、知恵を出し合って前に進むたくましさに感心しました。まさに、「**Aim High ～高みを目指して～**」を皆さんは体現してくれたと思います。皆さんの背中を見て、きっと1年生、2年生がこの姿勢

を引き継いでくれることでしょう。

白鵬女子高校は、あと数年で創立90周年を迎えます。多くの先輩方が築いてきた歴史と伝統の上に、現在の本校があります。4月からは「ダンスアート表現コース」が新設され、普通科10コースとなります。在籍生徒数約1,100名のうち、外国籍または海外につながる生徒は約1割にのぼり、今後も学内のグローバル化がより進んでいくことでしょう。

今後、100年、150年と続いていく女子校へ発展できるよう、皆さんが加えてくれた歴史の1ページを大切にしていきます。そして、いつでも、母校に顔を見せに来てください。

4月から新たなスタートをする卒業生の皆さんには、まだまだ伸びしろがあります。ぜひ、「本物」に触れる機会を多く持ち、社会の動きにアンテナをめぐらせ、なりたい自分に近づく努力を続けていってください。皆さんのご活躍を心から祈念いたします。卒業おめでとうございます。



(4) 令和7年3月3日

同窓会だより

令和7年度入学生の
募集活動を
振り返って入試広報部長
深瀬 恭一

入試広報部は生徒募集と入学試験の実施を担当しています。本校で行うオープンスクールや学校説明会を始め、全私学展、公私合同説明・相談会など学校外で行われるイベントなどを通じて、中学生・保護者の皆様に本校をアピールし、受験・入学に繋げていきます。その他、パンフレット等のツール、ホームページ・LINE・Instagramでの情報発信も行っています。今年は、学校内外での各種入試イベントにおいて、昨年以上の方々にお越しいただきました。特に今年は、2025年4月に新設するダンスアート表現コースのアピールを中心とし、進学アドバンス、進学スタンダード、グローバルアドバンス、グローバルスタンダード、メディアアート表現、スポーツ、保育、フードコーディネイト、総合の計10コースを、延べ数にしますと約3,800人以上の中学生・保護者の方々に本校をアピールしてきました。

さて、オープンスクールや学校説明会では、教職員とともに生徒も一緒に参加してくれています。生徒会の「学校広報委員会」の生徒たちです。学校内での入試イベントのほか、7月にパシフィコ横浜で行われる全私学展でも、展示ブースで一生懸命パンフレットを配ってくれています。

生徒役員の役割は、主に案内・

誘導補助です。エントランスでの受付、体験講座の受付、各会場への誘導、カフェテリアでの座席案内など多岐にわたります。学校説明会では、制服紹介のモデルを担当することもあります。この生徒役員の中には、自分が中学生の時に白鵬の説明会で見た先輩にあこがれ、入学したらこの委員会に入りたい、と思った生徒が少なくありません。来場者に対して笑顔とともに元気よく挨拶する生徒役員たち。3年生ともなると、1人で校舎見学ができるほど、頼もしくなります。過去には、学校のパンフレットの施設紹介ページに、施設ごとにオリジナルの紹介コメントを書き込んで覚えていた生徒もいました。実際、イベントごとの来場者アンケートでは、中学生や保護者の方々からは、生徒役員に対して毎回多くのお褒めの言葉をいただいています。

このように、全校体制で取り組んでいる広報活動。令和6(2024)年度には400名が入学しました。全校生徒は約1,100人となり、そのうち約1割近くは外国籍または海外につながる生徒です。生徒数の増加とともに学内のグローバル化も進んでいます。

私立学校を取り巻く状況は、ここ近年大きく変化しています。ここ最近、「私立高校の授業料無償化」をめぐるニュースを耳にすることが多いかと思います。東京都は、私立高校に通学する生徒に対して所得制限のない「完全無償化制度」を実施し、私立高校を志望する生徒が大幅に増加しています。今後、神奈川県を含めてどのような展開となっ

ていくかは、私学にとって非常に関心の高いことです。また、女子校の生徒募集は、依然厳しい状況にあります。東京都大田区にある蒲田女子高等学校は、2024年4月より羽田国際高等学校と名称を変更し、共学校としてスタートしました。また、鎌倉女子大学中等部・高等部は、2026年度入学生より共学化となり、「鎌倉国際文理中学校」「鎌倉国際文理高等学校」となります。公立高校においても統廃合が行われ、中学生の人数がこの先減少していくことに伴い、このような状況は今後も続いていくものと思われます。

本校は創立以来、女子教育の伝統を守りつつ、常に改革を進めながら、社会で、海外で、スポーツで、様々な世界で活躍できる女性の育成を目指しています。来たる90周年、100周年に向けて更なる発展を遂げられるよう、微力ながら尽力して参りたいと思います。

失敗を恐れず
挑戦する姿勢を進路指導部長
大堀 英二

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆さん、進路活動や卒業に向けて支えていただき、ありがとうございました。今年は新型コロナウイルスの影響も続き、年末にはインフルエンザが全国的に猛威を振るっていた中、自分自身で体調管理に細心の注意を払いつつ、受験に就職に全力を投じていかないといいな

進路活動でした。そのような中でも、着実に進路結果は出てきており、今年も素晴らしいものだったと思います。

◎令和7年度入試・合格実績

公立横浜市立大学・上智大学・青山学院大学・立教大学・明治学院大学・東洋大学・日本大学・津田塾大学・東京女子大学・芝浦工業大学・東京造形大学・女子美術大学等・日本体育大学・神奈川大学・関東学院大学・昭和女子大学・フェリス学院大学・他多数

〈海外大学〉

University of Leeds(UK)・University of Surrey(UK)・University of Sussex(UK)・University of East Anglia(UK)・Bournemouth University (UK)・Oregon State University(US)・他多数

横浜市立大学の合格をはじめ上智大学・青山学院大学・立教大学の合格も輝かしい結果です。国公立・私立の難関大学に挑戦する気持ちの結果につながったのだと思います。英検1級や準1級、そして留学経験、また部活動での輝かしい結果など、失敗を恐れず挑戦した結果が高く評価されています。メディアアート表現コースでも、デザイン力を活かした受験に挑戦したことで、東京造形大学合格という結果につながっています。また、海外大学の志願数は、昨年度の64に対して今年は90以上と増大しているため、今後、多くの結果が出てくるものと思います。国内だけでなく、海外にも視野を広げ、さまざまなことに挑戦をしていく結果が、

グローバルな将来への可能性とつながっています。そして海外大学の合否は3月以降に出るものが多く、イギリスやアメリカ以外の国にも広がっていくと思います。また、看護学科の大学受験でも挑戦し、結果を出しています。さらに、専門学校でも難しいと言われている看護系専門学校に多くの生徒が合格しています。

教育において「主体性」という言葉を多く耳にするようになりました。「主体性」とは、自分の意志や判断に基づき、責任を持って行動することで、自分で選択するだけでなく、自分の行動がもたらす結果にも責任を負う意識を持つことです。それは、失敗を恐れず、何かに挑み、経験を通じて、自分自身を成長させ大人となっていくことへもつながっています。

現在の大学受験は、推薦入試で進路を決める人が増えています。そして、推薦入試では、高校3年間で主体的に努力を積み重ねて来た結果が合否を分けています。つまり、さまざまなことに自分から挑戦してきたか、してこなかったかが問われていると考えてください。しかし、実は一般入試(筆記受験)でも同じことが言えます。高いレベルの学力という目的ははっきりしていますが、それに対して主体的に努力を積み重ねてくるのができたかが合否を決めます。これを書いている時には、一般受験の真っ最中ですが、今年も多くの生徒が2月の受験に向けて経験したことのない量の努力をしています。高みを目指して主体的に挑戦して

ほしいと願っています。そして、大学や専門学校に進学したり、就職したりした後も、そのスタイルを続け、失敗を恐れずに挑戦し続け、立派な大人になってください。教員一同、応援しています。

自分らしさとは

3学年主任

橘川 友里



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。多くのことを吸収し、大きく成長できたこと、大変嬉しく感じています。高校生活の3年間は長い人生の一部でありながら、良いことも悪いことも楽しいことも辛いことも、人それぞれ異なる物語があったことと思います。心から楽しむ姿や、壁を乗り越え成長する皆さんの姿を目にし、自分のことのように喜ばしく感じていました。

さて、皆さんの物語はこれからどんな展開を見せてくれるのでしょうか。輝かしい未来に期待も高まっていると思います。そこで「自分らしく」「個性を生かして」という言葉をよく耳にしますが、皆さんの存在自体が唯一無二なのですから、無理に個性を出そうと焦らないでください。私の担当教科は音楽ですが、演奏をする際、多くの演奏者の中で人と違うものを、聴衆の印象に残るものと考えがちになり、表現ばかりが先走ると、自分の思いとは裏腹に聴衆に伝わらないものです。基礎基本の技術がな

(6) 令和7年3月3日

同窓会だより

ければ伝わるものも伝わらず、この土台の上に初めて表現が成り立ち、それが聴衆へ響く個性に繋がります。合唱などのアンサンブルも同様です。皆が同じ基本を身に付けた上で初めて美しいハーモニーが生まれるのです。

皆さんのこれからの物語においても、引き続き土台となる知識や技術、思考力を身に付けることが自分自身を作り、支えとなり、他にはない個性となるはずで。更にそこに思い描く色を加えることで自分らしさが生まれることでしょ。

しかし、時には上手いかわないこともあるでしょう。その時こそ自分らしさが試されるのです。困難を乗り越えるためには物事を様々な角度から見ることで打開策を見出し、出していくと思いますが、その見方、何を大事に、何を核にするか、そこにこれまでの経験、自分らしさが表れるものです。そして、周囲にいる人、出会った人が助けにもなるでしょう。これまで自分自身を作ってきた努力はきっと誰かが見てくれています。人との関わりや出会いを大切に、皆さんそれぞれの物語を作っていくください。応援しています。

卒業生のみなさんへ

梅本 知里



3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、お子様が門出を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

私は今、卒業アルバム制作の過程で、この3年間の写真を改めて眺めています。入学時のクラス集合写真には、中学を卒業したばかりのまだ幼い表情の皆さんが写っており、3年という月日の移り変わりや一人一人の成長過程をしみじみと思い返しています。

高校生活の中では、それぞれに乗り越えるべき課題がありました。進学・就職などの目標に向けて努力した人、部活動や課外活動に懸命に取り組んだ人、卒業を大きなゴールにした人…卒業生の数だけ目標がありました。3年間をともに過ごし、成長を見てきた学年団の一員として、それぞれの目標達成を微力ながらサポートできたことを本当に嬉しく思います。

皆さんの心は、4月からの新生活に期待や不安が入り混じっていることでしょう。どんな人も初めての環境に飛び込む時には勇気がいるものです。そこで皆さんに、新しいことに臨む際に私が心がけていることをアドバイスさせていただきたいと思います。それは、「素直な心」・「感謝の心」・「自発的な思考」を持つことです。先生や先輩、友人など周囲のアドバイスに耳を傾け、教えられたことをまずは実践してみましょう。時には周りの声を真摯に受け止められないこともあります。自分なりの考えや方法が正しいと思うこともあるでしょう。しかし、まずは何事も素直に受け入れ、やってみることで。そして、ただ言われるままに実践するだけではなく、教わったことの意図や意義を自分の頭で考えてみましょう。そうする

ことで、学んだことが定着しやすくなり、物事を習得するスピードや環境への適応も格段に速くなります。その上で創意工夫ができ、自分なりのスタイルを確立するまでには、根気よく試行錯誤を繰り返す必要があります。時間がかかります。しかし、その懸命な姿を見て周囲の人はきっと手を差し伸べてくれることでしょ。また、そのことに感謝し、態度で表すことができれば、必ず周りの人はあなたを大切にしてくれます。これらのことは、皆さんと過ごす日々の学校生活や一人の親として子育てをする中で、私がいつも実感していることです。

当たり前かもしれませんが、結局は自分自身の思考や言動が周囲との関係性を作るのだと思います。人と人との関係はしばしば鏡に例えられます。自分に対する周りの態度を見れば、これまで自分が人にもどう接してきたかが鏡を見るかのようによくわかるということです。皆さんがどんなライフステージに立っていても、ここが自分の居場所だと思える良好な人間関係を構築し、幸せな人生を送ることができるよう願っています。

あたり前を積み重ねると特別になる

下村 恵大



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、ご息女のご卒業誠にありがとうございます。皆さんにとって、この3年間はどのような3年間でしたか。楽しかったことや辛かったこと、様々

な思い出があるかと思います。これらの経験は、必ず将来の糧となります。そして、このような高校生活は、決して一人ではできません。支えてくれた家族や友人、先生方に感謝の気持ちを持ち旅立ってください。

私は皆さんの入学と同時に白鵬女子に着任し、高校3年間をともに過ごしてきました。3年前、教員になったばかりであり、担任を持つことになった私は、不安でいっぱいでした。そんな私を映すかのように、皆さんが不安と期待の表情を見せていた入学式は、今でも鮮明に覚えています。私自身、この3年間を振り返ると、この学年は、3年間で変化を経験した学年かと思います。段々と緩和されてくコロナ対策、校則の見直しによるスマートフォン使用やスラックスの導入など。これらは突然訪れた変化ではありません。皆さんや先輩方が日々積み重ねた努力によって得た変化です。校則を守る、身嗜みを整える、言葉遣いを大切にする。世間一般的に当たり前とされる言動を積み重ねると、信頼という特別なものになります。これから先、新たな環境でもルールが存在します。納得がいけないことも沢山あるかと思いますが、ルールが気に入らないから破る行動を取ってしまうと、積み重ねた信頼は一瞬で崩れます。世の中を変えるのに必要なことは権力や知性よりも信頼だと思います。新しい環境でも、より良い方向へ改革できるよう、「あたり前」の行動を大切にして、信頼を積み重ねていってください。

最後に、皆さんは新たな門出に

立ち、それぞれの道を歩いていきます。どのような道に進んでも、うまく行くこともあれば、挫折することもあります。それが人生です。挫折そうな時は、高校3年間を思い出してみてください。必ず皆さんの支えになります。挫折は失敗ではありません。自信をもって、自分が決めた道を進み続けてください。一生に一度の高校生活をともに過ごせたことを嬉しく思います。3年間、本当にありがとうございました。

卒業生への祝辞

渡邊さくら



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様へ心よりお祝い申し上げます。ご家族の支えもあり、皆さんが元気に卒業を迎えられたことを本当に嬉しく思います。白鵬に入学した日からどのような成長ができましたでしょうか。私は白鵬に着任と同時に11組の担任を任されるようになり、心を躍らせながら皆さんの入学を待っていましたが、新型コロナウイルスにかかってしまい、入学式は私が欠席となってしまいましたね。皆さんも担任の先生がわからず不安な気持ちだったと思います。授業開始日にやっと対面となった日は、受け入れてもらえるか緊張しながら教室に入りましたが、皆さんがあたたかく迎えてくれたおかげで素晴らしいスタートがきれました。3年間変わらず11組の担任ができ、皆さんの成長を毎日近くで感じる事ができて本当に幸せ

でした。

皆さんにとって白鵬で過ごした高校生活はどのように感じたでしょうか。理想や想像していたものと異なっていたでしょうか。学校行事や修学旅行など全力で取り組みましたでしょうか。高校生活の3年間は生涯の中で一度しかないかけがえのない時間です。卒業しても、笑顔で楽しかったね、と級友と笑いあえるような時間になっていたら幸いです。

私自身は、学校行事の中で体育祭が特に好きでした。大きな声をだして仲間を応援し、練習の成果を発揮する姿がとても輝いていて素敵でした。一丸となって頑張ったという体験をこれからも忘れないでください。

4月からはそれぞれの道に進みますね。この3年間、一緒に笑い合い、助け合い、怒りあった仲間とも離れ離れになってしまいます。さまざまな経験をし、時には嫌になって投げ出たくなってしまうこともあるかもしれません。そんな時は自分を追い詰めず、ゆっくりと自分のペースで進んでいけば大丈夫です。困ったときは友達も家族も先生たちもいます。みんな仲間を応援しています。安心して前に進んでくださいね。

最後となりますが、11組の担任、教科として皆さんに関わることができ本当に幸せでした。今後どのような活躍をしていくかとても楽しみにしています。これからの人生が皆さんにとってより素晴らしいものになりますよう心から祈っています。

(8) 令和7年3月3日

同窓会だより



私たちの3年間

今年度卒業3年5組

前生徒会長 鈴木 春菜

私たちの高校生活は一言で表すと一新・革新だと思います。コロナが緩和しはじめた頃から始まった高校生活は元の生活に戻りつつもまだ制限があり前の日常とは程遠いものでした。その中で記念祭や体育祭は遅れつつも開催し、校則の改善なども多く、1年生から3年生まで年々新しい景色が見えていたような気がします。

1、2年生の頃は、学校への登校はできたもののまだその顔にはマスクの影が色濃く残り、昼食では黙食を徹底するなど、思い描いていた高校生活とは違うものでした。ですが、時間が経つにつれ元の生活へ色を戻し、また行事なども規模の縮小、制限はありつつも現代の技術を使って工夫を凝らし、インターネットでの事前予約、新しい形での行事体制をとり開催することができました。

3年生では、生徒会長として全校生徒の前に立つ機会が増え、学校の代表として沢山の経験をさせていただきました。廊下を

歩いていれば「あ、生徒会長だ！こんにちは」と色々な人に話しかけていただき、挨拶もしてくれ、改めて学校全体を見て天真爛漫な学年だなと感じました。また、校則の改善により、スラックスやスマホが導入されたおかげかまた違ったみなさんの笑顔が見れたと思います。体育祭では、例年とは異なりスローガンなどはデジタル化され、パソコンで作られるようになりました。記念祭のスローガンには「笑顔満祭～No、Festival No、Smile～」は笑顔なくして祭りは楽しめない、世間から徐々にマスクの影が薄れていき、マスクで隠れていた笑顔を沢山見たいという願いを込めました。この願いのおかげか行事の規模も戻り、沢山の来場者を楽しんでいただけ、笑顔に包まれていました。

私たちの3年間は、様々な経験と学びに満ちたものでした。新しい出会いや挑戦を通じて、時には苦しいこともありましたが、仲間たちとともに乗り越えてきたことは、私の宝物です。特に生徒会の活動を通じて、皆さんとの絆を深め、自分自身を成長させることができました。この経験は、今後の人生においても大いに役立つことでしょう。私たちはこの場所を離れますが、いつまでも緑蔭会の一員であることを忘れません。これからもどうぞ私たちを見守っててください。最後に、皆さんの将来が輝かしいものでありますよう心より祈っております。卒業生を代表し、これまで支えて

くださったすべての方々に感謝致します。



夢を実現するために

今年度卒業3年9組

陸上競技部 勝呂 遥香

私が陸上を始めたのは、小学校の時です。その頃にテレビで初めて見た、女性実業団選手が走る「クイーンズ駅伝」。そこに映る女性ランナーはとても格好良く、衝撃的でした。自分もいつか、「クイーンズ駅伝に出場したい」と思っていました。どの種目よりも駅伝が好きな私は、高校でももちろん全国高校駅伝で都大路を走りたいと強く思い、地元静岡県を離れ白鵬女子高校への入学を決意しました。

入学時に掲げた目標の通り、1年時から全国高校駅伝の2区を任せていただきました。1年生ながらメンバーに選ばれたことが嬉しく、人生初の都大路はとても楽しい4kmだったことを今でも覚えています。トラック種目においても、2年時から2年連続インターハイに出場することができました。2年時は予選落ちという結果に悔しさを味わいましたが、3年時には雪辱を果たし、10位でゴールすることができました。8位入賞にはあと一步届かず悔しい思いもありますが、最後のインターハイはとても楽しく走れました。

しかしそこに至るまでに、怪我をして走りたくても走れない時、練習で調子が上がらず落ち込む

時、自分と周りを比較して悔しく辛い時、あれほど好きだった陸上が嫌で逃げたいと思った時、さまざまな葛藤がありました。それでも多くの方の支えや、将来実業団選手として活躍したいという小さな頃からの目標がいつも私の心を奮い立たせ、逃げずに最後まで駆け抜けることができました。たとえ辛いことがあっても、目標をぶらさなければ必ず達成することができると大きく実感した3年間でした。そしてなにより3年連続で都大路を走ることができました。過去に3年連続で出走した先輩は3人しかいないほど厳しい世界の中で、私はとても恵まれた競技生活を送ることができました。あの時、白鵬女子高校に入学した自分の決断は間違いではありませんでした。

これもすべて佐野先生、出水田コーチ、馬場先生のご指導があつてこそです。競技面だけではなく人間性も大きく成長することができました。本当に感謝しています。

卒業後は小学生の頃から憧れていた実業団に入社し競技を継続します。結果が全ての厳しい世界です。1年でも長く、チームのため、会社のために貢献できるようさらなる目標に向かって突き進みます。



心に残る 卒業生

理科 堀切 拓也



ボクは今年84歳になります。今回、緑蔭の原稿依頼を受け、もう歳なんだから勘弁してくれよ、とも思ったのですが、事務局の方々が原稿集めに苦勞なさっているということなので、無い知恵を振り絞って原稿用紙に向かっています。

84歳と言ったら昔だったらヨボヨボの大老人の印象ですが、本人としてはまだまだ若い(?)つもりで頑張ってます。とは言え、寄る年波には逆えず最近もの覚えが悪くなったような気がしています(お前の物覚えが悪いのは昔からだろうなんて言わないでください)。

でも、最近のことは覚えられなくても、かなり古いことをしっかりと覚えていたりするものなのですね。

ボクがこの白鵬女子高校の前身である京浜女子商業高校に奉職したのは昭和40年(1965年)ですから、今からちょうど60年前の

事です。

勤め始めてまだ間もないころ、一人の生徒がボクに言ったことを今でもはっきりと覚えています。「先生もすぐにやめてしまうんでしょうねえ」ボクは初めその言葉の意味が分かりませんでした。その生徒は続けてこう言いました。「私がいい先生だなあと思う先生は、たいてい1年か2年でやめてしまうんですよ」その生徒は当時併設されていた付属の中学校からの進級生で、そのとき高校2年生でした。その生徒が何を基準に「いい先生」と言ったか分かりませんが、ボクは自分が「いい先生」なんて言われたような面映ゆさを感じながら、こう答えました。「ボクはどんなことがあっても1年や2年でやめたりしないよ。石の上にも3年と言うじゃないか。だから3年間はやめない。もし3年たっても立派な先生になる見通しが立たなければ、キッパリと教師をやめる」なんとも大層なことを言ったものです。そして3年が過ぎ、その生徒はもちろんその間に卒業していきました。ボクは考えました。『自分は3年間で、立派な教師になれるという見通しが立っただろうか』正直に言ってみ通しは立っていなかったし、自信もありませんでした。でもボクは教師をやめられなくなっていました。教師という仕事にとってもやり甲斐を感じるようになっていたので

入試広報室より お知らせ

お知り合いのご息女で令和7年度中学3年生がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

〔お問い合わせ〕 入試広報直通 **045-574-0971**

(10) 令和7年3月3日

同窓会だより

す。そしてボクは改めて教師を続ける決心をし、平成13年(2001)まで36年間、「いい先生」に成れたかどうか、自分では判断できませんが、曲がりなりにも勤めを果たすことができました。

お恥ずかしいことに、その間には挫折しそうになったことも何度かありました。その度にあの時の、あの生徒の、あの言葉を思い出し、それを励みに新たな歩みを続けることができたのです。

ボクはあの卒業生に何かを与えることができたでしょうか。いや、与えるどころか与えられることの方が大きかったように思います。

36年間、「教える」と言う大それた仕事に携わってきたわけですが、逆に「教わる」ことも多い人生でした。

お陰様で現在は1人の妻と(当たり前だ!) 3人の子供と、4人の孫に囲まれて、平穏な毎日を過ごしております。

人生最晩年に近づきつつある老人の戯言(たわごと)とご笑覧ください。



「おばば」のつぶやき

昭和41年度卒業 植 由美子
(旧姓:奥秋)

卒業生の皆さま、お元気ですか。

今年度は新年早々、能登半島地震があったり、航空機の衝突炎上事故があったりまた火災でなくなるニュースも多いように思われます。それに比べて横浜はちょっとでも降った雪に大慌てして、被災地の方達に比べたら寒いだなんて言えませんね。

そんな悲惨なニュースの中、とうとう我が家を建て替えることになりました。この家に嫁いで49年、この家はその前年に建てられたものなんですからなんと築50年です。部屋によってはどこからともなくすきま風が入って来て冬は寒いんです。でも南向きのリビングは明るくて冬の暖房がいらない日があります。新居となる家は、各部屋床暖房で私の長年の夢が叶うことになるのです。この家でのピーク時は7人暮らしでしたが、3人の子どもたちはそれぞれ独立しそして昨年の夏には体調を崩していた義父も義母の所へ逝ってしまいました。主のいない部屋を入れますと9部

屋あります。お掃除は大変ですが7人で賑やかに暮らしていたところが懐かしいです。

子供部屋には泣いたり笑ったり怒ったりと、それぞれの思い出があり、両親の部屋には二人で旅行した時の笑顔の写真があります。主人と私のそれぞれの親を亡くした今、健康で充実した日々を送らなければなあ、とあらためて思うのです。令和6年1月に工務店との契約を交わして早速設計士さんとの打ち合わせ開始です。間取りの打ち合わせ後は外壁の色や部屋の照明、収納、バス・トイレキッチン等々、色や形や大きさを決めることが沢山出てきました。その数の多さに楽しさも時には苦痛とも思えるようになったりもしました。でもそんな日々も少しずつ前に進むことで楽になって行きました。まるで詰まっていた水がだんだんにはけて、流れて行くような感じでした。9月に地鎮祭、10月末には上棟式と工程表通りスムーズに進んでおります。11月に入り、外壁が組まれてくると大分家らしく見えて来ました。フィリピンからの実習生たち、アフリカから来た青年3人、そして毎晩8時近く迄作業をしてくださる大工さん。そうした方々のお陰で我が家は着々と工事が進んでおります。令和7年3月ごろには引越しができそうです。新居は今住んでおります家の隣の空き地だったところですから、皆で協力して毎日少しずつ荷物を運びましょうか。まるでアリの行列みたい。(笑)

いつでも 原稿募集中!



原稿などとかたくるしく考えずに、気軽にお便りください。
ご主人、お孫さんの自慢話、和歌、俳句など大歓迎です。

～ 後輩たちの活躍 ～

陸上競技部

- 南関東高等学校陸上競技大会
〈1500m〉
アカイ メアリー(1年) 4位
〈3000m〉
ジェシタ ニョカビ(3年) 優勝
勝呂 遥香(3年) 3位
- 全国高等学校総合体育大会
〈1500m〉
アカイ メアリー(1年) 予選4組7位
〈3000m〉
ジェシタ ニョカビ(3年) 4位
勝呂 遥香(3年) 10位
- 神奈川県高等学校駅伝競走大会
優勝 1時間12分11秒
(4年連続16回目)
(勝呂(3年)・沼田(2年)・成澤(2年)・
ジェシタ(3年)・村井(2年))
区間賞:1区 勝呂・4区 ジェシタ
- 関東高等学校駅伝競走大会
(32年連続出場)
優勝 1時間10分08秒
(3年連続5回目)
(勝呂(3年)・沼田(2年)・成澤(2年)・
ジェシタ(3年)・村井(2年))
区間賞:1区 勝呂・4区 ジェシタ
- 全国高等学校駅伝競走大会
(4年連続17回出場)
12位 1時間10分29秒
(勝呂(3年)・沼田(2年)・ジェシタ(3年)
・成澤(2年)・村井(2年))
- 皇后杯全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
神奈川県 10位
勝呂 遥香(3年) 2区 区間5位

■全国高等学校体操競技選手権大会 県最終予選会

- 団体総合
2位 3年 藤井優里菜、
2年 紺田希香、稲葉心美
藤谷友梨奈
- 個人総合
優勝 2年 紺田希香
8位 2年 藤谷友梨奈

体操競技部

- 関東高等学校体操競技大会
団体総合
7位 3年 藤井優里菜、
2年 紺田希香、稲葉心美
個人総合
5位 2年 紺田希香
- 全国高等学校総合体育大会体操競技大会
個人総合 10位 2年 紺田希香
平均台 5位 2年 紺田希香
ゆか 5位 2年 紺田希香
- 国民スポーツ大会体操競技
神奈川県 6位 2年 紺田希香
- 県高等学校体操競技新人大会
個人総合
2位 2年 藤谷友梨奈
3位 2年 稲葉心美
- 種目別
平均台 3位 2年 藤谷友梨奈
跳馬 優勝 2年 藤谷友梨奈、
3位 2年 稲葉心美
段違い平行棒
2位 2年 稲葉心美
3位 2年 藤谷友梨奈
ゆか 2位 2年 藤谷友梨奈、
3位 2年 稲葉心美
紺田、稲葉、藤谷 全国高校選抜出場(3月)

バレーボール部

- 第30回神奈川県高等学校
バレーボール男女選手権大会 兼
第77回全日本バレーボール
高等学校選手権大会神奈川県予選会
ベスト16
- 令和6年度横浜市内高校
バレーボール選手権大会 準優勝
- 令和6年度横浜地区夏季
バレーボール大会 ブロック優勝
- 令和6年度横浜地区秋季
バレーボール大会 ブロック優勝
- 令和6年度神奈川県高等学校
バレーボール新人大会
ベスト16

弓道部

- 令和6年度神奈川県民大会
兼 国体予選会 出場
- 令和6年度神奈川県春季大会
兼 関東大会県予選会 出場
- 第62回神奈川県総合体育大会
兼 全国総体県予選会 出場
- 神奈川大会個人 兼
関東個人大会県予選会 出場
- 神奈川県団体兼全国・
関東選抜大会県予選会 出場
- 神奈川県高等学校弓道
新人大会 出場
- 第9回神奈川県私立高等学校
弓道大会 出場
- 全日本弓道連盟 昇段審査
「弓道式段」取得
2年3組 青木 宝愛
2年3組 我妻 タミ エドアルダ

(12) 令和7年3月3日

同窓会だより

競泳部

■令和6年度全国高等学校総合体育大会
第92回日本高等学校選手権水泳競技大会
木所美音楽(3年)
200m個人メドレー B決勝
7位 2:21.11

■令和6年度関東高等学校選手権
水泳競技大会
木所美音楽(3年)
200m個人メドレー 8位 2:20.45
4×100mフリーリレー 7位 3:55.97
松波海風(1年) 目黒夕梨花(1年)
澤崎舞衣(3年) 木所美音楽(3年)

■第62回神奈川県高等学校総合体育大会
水泳競技大会 女子総合4位
澤崎舞衣(3年)
50m自由形 4位 26.56
100m自由形 8位 58.48
目黒夕梨花(1年)
50m自由形 6位 26.84
松波海風(1年)
200m自由形 4位 2:07.82
須藤璃々花(2年)
400m自由形 3位 4:25.06
800m自由形 4位 9:12.72
川島紗波(2年)
800m自由形 7位 9:20.46
木所美音楽(3年)
200m個人メドレー 2位 2:17.09
400m個人メドレー 2位 4:57.08

■第7回神奈川県高等学校
新人水泳競技大会 女子総合5位
目黒夕梨花(1年)
50m自由形 4位 26.88
100m自由形 5位 59.53
松波海風(1年)
200m自由形 6位 2:10.29
川島紗波(2年)
400m自由形 6位 4:35.75
須藤璃々花(2年)
100m背泳ぎ 8位 1:08.19
200m個人メドレー 6位 2:26.84
宮根咲生(2年)
200m背泳ぎ 6位 2:30.88
橋本真友(2年)
400m個人メドレー 8位 5:26.66

4×50mフリーリレー 4位 1:50.65
目黒夕梨花(1年) 松波海風(1年)
塩澤鼓(1年) 須藤璃々花(2年)
4×100mフリーリレー 4位 4:03.66
目黒夕梨花(1年) 塩澤鼓(1年)
松波海風(1年) 須藤璃々花(2年)
4×100mメドレーリレー 5位 4:34.89
須藤璃々花(2年) 橋本真友(2年)
松波海風(1年) 目黒夕梨花(1年)

水球部

■第47回全国JOC
ジュニアオリンピックカップ
夏季水球競技大会水球
白鵬女子高等学校、白鵬Gull wpc
ベスト8

白鵬女子高等学校
3年:石川伶奈、大内彩乃、齋藤舞
夢、鈴木伽望、栢あずな、横島悠月、
松本小帆/2年:下田茉阿、畠山
桜来、本村栞菜/1年:神原色羽、
近藤みち佳、佐藤紗璃

白鵬Gull wpc
2年:斧田真菜、河原叶奈、廣瀬渚
1年:猪狩玖唯、石森愛凰、北島
悠、島崎こなつ、住宮百香、中島麻
緒、廣谷柚、松原礼依、赤岩桃香

■第17回(2024年度)全日本
ユース(U15)水球競技選手権大会
一桃太郎カップ 第5位
1年:石森愛凰、北島悠、廣谷柚、
佐藤紗璃、島崎こなつ、神原色羽、
近藤みち佳、松原礼依、猪狩玖唯、
住宮百香、中島麻緒
ベスト7(優秀選手) 神原色羽

■国民スポーツ大会-SAGA2024-
水球競技水球女子(年齢制限なし)
神奈川県 第7位
3年:鈴木伽望、栢あずな
2年:下田茉阿

■1月以降の予定
3月20日(木)~23日(日)
・第11回(2024年度)全日本ジュ
ニア(U17)水球競技選手権大
会-かしわざき潮風カップ-

サッカー部

■第13回 神奈川県高校総合
体育大会 女子サッカー大会(兼)
全国高等学校総合体育大会
女子サッカー大会神奈川県予選
出場

■第33回 神奈川県高等学校
女子サッカー選手権大会(兼)
全国高等学校女子サッカー
選手権大会神奈川県予選
出場

■第31回 神奈川県高等学校
女子サッカー新人大会 出場

■令和6年度神奈川県高等学校
女子サッカーリーグ
2部リーグ参戦

テニス部

■神奈川県高等学校テニス大会
団体 優勝
阿部叶実(3年)・小島陽菜(3年)・
玉木梨緒(2年)・鈴木彩葉(2年)・
堀井姫瑠(2年)
シングルス 第3位
玉木梨緒(2年)
ダブルス 第3位
小島陽菜(3年)・阿部叶実(3年)

■関東高等学校テニス大会
団体 第3位
阿部叶実(3年)・小島陽菜(3年)・
玉木梨緒(2年)・鈴木彩葉(2年)・
堀井姫瑠(2年)

■全国高等学校総合体育大会
団体 ベスト32
阿部叶実(3年)・小島陽菜(3年)・
玉木梨緒(2年)・鈴木彩葉(2年)・
堀井姫瑠(2年)
シングルス ベスト32
玉木梨緒(2年)

■関東ジュニアテニス選手権大会
ダブルス 18U 第3位
阿部叶実(3年)・小島陽菜(3年)

■全日本ジュニアテニス選手権大会
シングルス 16U
ベスト16 玉木梨緒(2年)
出場 遠藤寛果(1年)
ダブルス 18U 出場
阿部叶実(3年)・小島陽菜(3年)
16U 出場
遠藤寛果(1年)

■神奈川県高等学校新人テニス大会
団体 優勝
堀井姫瑠(2年)・玉木梨緒(2年)・
鈴木彩葉(2年)・岡田あやめ(2年)・
和田夏季(1年)・内田千帆(1年)・
三上凜奈(1年)・遠藤寛果(1年)・
高橋そら(1年)
シングルス
第3位 鈴木彩葉(2年)
ベスト8 玉木梨緒(2年)・
堀井姫瑠(2年)・和田夏季(1年)
ダブルス
優勝 玉木梨緒(2年)・鈴木彩葉(2年)
第3位 岡田あやめ(2年)・和田夏季(1年)
ベスト8 堀井姫瑠(2年)・内田千帆(1年)

■全国選抜高校テニス大会関東地区大会
団体 第3位
※全国選抜高校テニス大会出場決定
堀井姫瑠(2年)・玉木梨緒(2年)・
鈴木彩葉(2年)・岡田あやめ(2年)・
和田夏季(1年)・内田千帆(1年)・
三上凜奈(1年)・遠藤寛果(1年)・
高橋そら(1年)



// ソフトボール部

■令和6年度横浜地区高等学校
ソフトボール大会 2位

■第11回熊谷カップ
(3月29日・30日) 出場権獲得

// 柔道部

■第2回関東高等学校選抜柔道大会
女子78kg級 第5位
1年7組 イベアヌシ黒澤 チオマ

// フィギュアスケート部

■第47回リリーカップカナガワ
神奈川県フィギュアスケート
フリー選手権大会
ジュニア女子Ⅰ
7位 西川 梨羅(3年)
ジュニア女子Ⅱ
1位 八田 琴子(1年)

■サイニチホールディングス杯
第9回 彩の国 Spring
フィギュアスケート競技会
女子 ジュニア(関東)
3位 八田 琴子(1年)

■PRINCE ICE CUP 2024
ジュニア女子ショート
1位 八田 琴子(1年)
6位 西川 梨羅(3年)
ジュニア女子フリー
2位 八田 琴子(1年)
5位 西川 梨羅(3年)

■関東 サマートロフィー 2024
ジュニア女子
3位 八田 琴子(1年)
22位 西川 梨羅(3年)

■2024東京夏季フィギュアスケート
競技大会 ジュニア女子
4位 八田 琴子(1年)

■2024関東フィギュアスケート選手権大会
ジュニア女子

2位 八田 琴子(1年)
45位 西川 梨羅(3年)

■第41回東日本フィギュアスケート
ジュニア選手権大会 ジュニア女子
16位 八田 琴子(1年)

■第28回ウィンタートロフィー 兼
第79回国民スポーツ大会冬季大会
スケート競技会県選考会
ジュニア女子
2位 八田 琴子(1年)
8位 西川 梨羅(3年)

■第79回国民スポーツ大会冬季
大会フィギュア競技予選会
少年女子
1位 八田 琴子(1年)

■令和6年度全国高等学校総合体育大会
第74回全国高等学校フィギュア
スケート競技選手権大会
女子 12位 八田 琴子(1年)
神奈川県勢最上位
85位 西川 梨羅(3年)

■第79回国民スポーツ大会冬季
大会スケート競技会
少年女子
12位 八田 琴子(1年)
神奈川県少年女子代表2名による
総合結果により、都道府県別対抗にて
6位入賞を果たしました。

■令和6年度全国高等学校
総合体育大会
フィギュアスケート選手権大会
スローガン作品募集 最優秀賞
「氷上に咲く
一輪の薔薇のように輝け」
3年8組 鈴木 彩花
上記結果より、令和6年度全国高等
学校総合体育大会 第74回全国高
等学校フィギュアスケート競技選手権
大会のスローガンに掲載されました。

(14) 令和7年3月3日

同窓会だより

新体操部

- 関東高等学校新体操大会県予選会
個人総合 2位 3年 田邊観世埜
3位 2年 佐藤真尋
クラブ 優勝 3年 田邊観世埜
4位 2年 佐藤真尋
リボン 2位 3年 田邊観世埜
3位 2年 佐藤真尋

- 関東高等学校新体操大会
個人総合 4位 3年 田邊観世埜
13位 2年 佐藤真尋
リボン 4位 3年 田邊観世埜
クラブ 3位 3年 田邊観世埜

- 全国高等学校新体操選手権大会
県最終予選会
個人総合 2位 3年 田邊観世埜
3位 2年 佐藤真尋
クラブ 優勝 3年 田邊観世埜
3位 2年 佐藤真尋
リボン 2位 3年 田邊観世埜
3位 2年 佐藤真尋

- 県高等学校体操競技新人大会
個人総合2年 佐藤真尋
フープ 優勝 2年 佐藤真尋
ボール 優勝 2年 佐藤真尋
クラブ 3位 2年 佐藤真尋
リボン 優勝 2年 佐藤真尋

演劇部

- 令和6年度
第61回横浜市高等学校
演劇発表会出場
地区大会 最優秀賞受賞
中央大会 最優秀賞受賞
生徒審査員最優秀賞受賞
演目「トシドンの放課後」

- 令和6年度
第63回神奈川県高等学校
演劇発表会出場
県大会
神奈川県高等学校演劇連盟
会長賞(優秀賞)受賞
演目「トシドンの放課後」

吹奏楽部

- 5月 体育祭演奏
7月 第25回横浜吹奏楽
コンクール 銀賞
9月 記念祭演奏
11月 第25回横浜アンサンブル
コンテスト
木管四重奏:銅賞、
金管四重奏:銅賞
12月 部内クリスマスコンサート
3月 第12回定期演奏会

吹奏楽部 第12回 定期演奏会

令和7年3月21日(金) 開場 17:30 開演 18:00 ※入場無料



港北区民文化センター「ミズキーホール」

東急新横浜線「新綱島駅」直結、
東急東横線「綱島駅」徒歩3分
新綱島スクエア4・5階

【演奏曲】 マーチ「ブルースカイ」

沢地 萃

「君の名は。」コレクション

ディープ・パープル・メドレー 他

【指 揮】 村松功介(本校コーチ)

同窓会だより

令和7年3月3日（15）

■令和5年度 事業報告書

令和6年5月19日

科 費 目	5 年度予算額	5 年度決算額	摘 要
【収入の部】	5,551,728	5,553,792	総収入金額
会 費	3,204,000	3,204,000	356人×9,000円
積立金取崩し	0	0	
雑 収 入	20	2,064	銀行預金の利息等
前期より繰り越し	2,347,728	2,347,728	令和4年度よりの繰越金
【支出の部】	4,763,600	3,041,402	総支出額金額
(本部費)	220,000	241,632	
事務局 費	10,000	0	書式作成費・通信連絡費等
会 議 費	150,000	213,032	会議費(交通費・食事代)
用具備品費	0	0	
本部予備費	50,000	28,600	冠婚葬祭関係・その他
雑 費	10,000	0	
(事業費)	4,543,600	2,799,770	
生徒会補助費	200,000	200,000	生徒会へ特別補助
体育祭補助費	200,000	200,000	体育祭補助費 生徒会へ
記念祭補助費	200,000	200,000	記念祭補助費 生徒会へ
広 報 費	350,000	326,570	緑蔭会だより製作費(発送費)
積 立 金	1,500,000	0	特別事業費積立(定期預金へ)
部活動支援費	700,000	410,000	全国大会出場等
卒業記念品	193,600	263,200	令和5年度卒業生@800 329人
予 備 費	1,200,000	1,200,000	白鵬アリーナー記念品代(花瓶)
(次期繰越金)	788,128	2,512,390	次期繰り越し予定額

■令和6年度 事業予算書

令和6年5月19日

科 費 目	6 年度予算額	6 年度決算額	摘 要
【収入の部】	6,400,410		総収入金額
会 費	3,888,000		324人×12,000円
積立金取崩し	0		
雑 収 入	20		銀行預金の利息等
前期より繰り越し	2,512,390		令和5年度よりの繰越金
【支出の部】	5,151,600		総支出額金額
(本部費)	220,000		
事務局 費	10,000		書式作成費・通信連絡費等
会 議 費	150,000		会議費(交通費・食事代)
用具備品費	0		
本部予備費	50,000		冠婚葬祭関係・その他
雑 費	10000		
(事業費)	4,931,600		
生徒会補助費	200,000		生徒会へ特別補助
体育祭補助費	200,000		体育祭補助費 生徒会へ
記念祭補助費	200,000		記念祭補助費 生徒会へ
広 報 費	350,000		緑蔭会だより製作費(発送費)
積 立 金	1,500,000		特別事業費積立(定期預金へ)
部活動支援費	700,000		部活動全国大会出場補助費
卒業記念品	281,600		令和6年卒業生@¥800 352人
予 備 費	1,500,000		白鵬アリーナー用 プロジェクター
(次期繰越金)	1,248,810		次期繰り越し予定額

(16) 令和7年3月3日

同窓会だより

事務局より

編集後記

令和6年度は、3月に緑蔭会会長の高橋キクエ様、11月には、本校元校長大橋巖先生がご逝去され、大変驚きました。高橋キクエ様は、入学式や卒業式で来校していただいた際に、いつも元気に話しかけて下さいました。折に触れて先生の笑顔が思い出され、残念でなりません。大橋先生は、京浜女子商業高等学校の時代から長きにわたって勤務されました。その歴史の中で、校長着任、さらに、緑蔭会名誉会長として、本学院発展のために尽力されました。お二人のご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年度は新入生を400人迎え、全校生徒数は1,088人になりました。この生徒数は、全国的に見ても、女子校単体としてはトップレベルになっています。また、ケニア、ナイジェリア、中国からの留学生や日本国外にルーツを持つ「外国に繋がる生徒たち」も多数入学しています。彼女らは、国際色豊かな環境の中で、ともに学び合う者として、お互いを尊重し、多種多様な文化を受け入れ、「ともに生きる」ことの大切さを経験しています。そして、体育祭や記念祭などの学校行事も全校挙げて毎年盛大に行われ、そこでも活躍しています。

さらに、学業面においては、難関大学や海外大学への合格者数を毎年確実に伸ばし、実績を上げています。そして、部活動では、陸上部、硬式テニス部、体操部、水泳部、フィギュアスケート部、等、複数の部活が全国大会の常連校となっています。卒業生の皆様におかれましては、後輩たちの活躍を誇らしく思っていられたいことでしょう。

さて、緑蔭会も90周年に向けて評議委員の方々と準備委員会を立ち上げました。「90周年に向けた取り組みについて」の情報につきましては、本校のホームページにも掲載いたします。ご確認いただくとともに、後輩の活躍や本校の取り組みなどを見に是非、母校へお越しください。

本校職員一同、心よりお待ちしております。

(緑蔭会事務局)

訃報

高橋キクエ (緑蔭会会長) 2024年3月 逝去

大橋 巖 (元校長) 2024年11月 逝去

～ 謹んでご冥福をお祈り申し上げます ～

お願い

◇来年度の本誌への寄稿をお願いします。

年内に本校緑蔭会事務局に近況報告等の原稿をお送りください。

◇住所変更(住居表示の変更)などがありましたら、お知らせください。

住所・氏名(旧姓も)・卒業年度・クラスを忘れずにご記入下さい。

◎ご意見・ご希望などありましたら、お寄せください。